

■平成27年度第16回（第258回）都市経営戦略会議結果概要

【日 時】 平成27年11月24日（火） 午後3時50分～午後4時30分

【場 所】 政策会議室

【出席者】 市長、木下副市長、本間副市長、水道事業管理者、教育長、技監、
都市戦略本部長、総務局長、財政局長、総合政策監、スポーツ文化局長

【議 題】 (1)「さいたま市スポーツ振興まちづくり計画 改訂版」（素案）について
(2)「さいたま市国際スポーツタウン構想」（素案）について

< 提 案 説 明 >

- ・ 11月12日の都市経営戦略会議で指摘のあった点について、再検討をした。
- 「さいたま市スポーツ振興まちづくり計画 改訂版」（素案）について
 - ・ 「障がい者」の表記について、平仮名での固有名詞を除き、すべて漢字で統一した。
 - ・ 「ミチづくり」のカタカナ表記について、すべて平仮名に修正した。
 - ・ 段組みを見直すことについては、市長挨拶や目次を含め最終段階で調整する。
 - ・ 障害者スポーツを特出しすることについては、当初①の「市民のスポーツ実施状況」の中で障害者等のスポーツ参加に関し記載をしていたが、新たに「⑤障害者等のスポーツ参加」として、現在行われている障害者スポーツの取組を紹介するページを設けた。また、「(8) スポーツを取り巻く現状と課題の整理」のうち「「する」スポーツ活動について」の現状と課題に、障害者スポーツに関する記載を追加した。更には、「健康・福祉」の分野における基本施策の一つ「多様な世代・人のスポーツの振興」を「健康増進につながるスポーツの振興」と「障害者スポーツ等の振興」とに分割した上で、それぞれに位置付ける主な事業を分類整理し、スポーツを通じた障害者の社会参加及び障害に対する理解の促進を図ることとした。
 - ・ 国際交流の視点を入れることについては、「主なスポーツの意義」における「国際友好・親善への貢献」の例示の一つに「国際交流」を追加した。
- 「さいたま市国際スポーツタウン構想」（素案）について
 - ・ スポーツシュレの設置やスポーツコミッションの組織化について、より具体的な方向性を示すため、施策展開の二つの柱を「シティセールス」と「スポーツ環境の整備」とに再整理して、施策の位置付けを明確にした。また、「さいたまスポーツコミッションの拡充強化」の説明に、「民間企業との連携による専門スタッフの参画」という文言を追加して、組織化についての検討の方向性を示した。更には、最

後の「まとめ」において、スポーツコミッション及びスポーツシュレを本構想における重要なキーワードとして強調した。

- ・ スポーツ基盤整備のグレードアップ及び既存施設の国際級化、ホテル誘致並びに与野体育館及びMICEも踏まえたプールやアリーナ等の基盤整備の必要性についての記載や位置付けとして、「MICEと連携した都市基盤整備と国際的なスポーツカンファレンス等の誘致・開催」の説明に、「国際スポーツタウンとしての市内宿泊設備の整備・充実が求められる。また、スマート・ベニューの考え方などを取り入れ、コンベンションとスポーツの複合化などを、MICEとの連携の中で研究していく。」という文言を追加した。また、最後の「まとめ」において、基盤整備とMICEとの連携に関する記載を追加して、MICEと連携したスポーツ施設の充実についての整理をした。
- ・ スポーツシュレ設置の運営面については、「スポーツ拠点となる（仮称）さいたまスポーツシュレの設置等」の説明に、「立地の検討にあたっては、既存施設の活用とともに、必要に応じ特区制度を利用した用地確保も視野に入れる。また、施設の整備や運営については、国内外の事例を参考にしつつ、官民連携及びスポーツ関連団体との協力等による様々な手法を検討する」という文言を追加した。

< 意見等 >

● 「さいたま市スポーツ振興まちづくり計画 改訂版」（素案）について

- ・ グラフや表の字がとても見づらいので、段組みの見直しなどと併せて、印刷や製本段階で見やすくしてほしい。
 - ・ 10頁の本市における体力テストに関する図表について、小中高の数値を掲載しているが、高校については市立4校のみの数値であるため、誤解を招かないよう、注釈を付して欲しい。また、データも最新のものに差し替えてもらいたい。
 - ・ 浦和南高校の芝生化についての記載がないので、44頁のスポーツを通じた地域住民との交流推進について、取組の具体例として、「芝生化を行うなどして」といった文言を入れて欲しい。
 - ・ 13頁、21頁等写真についてはもう少し記載内容にあった写真はないのか。
- 個人が分からないものを選定した結果であるが、より良い写真があれば差し替える。また、39頁の写真については、今年度の写真に差し替える。

● 「さいたま市国際スポーツタウン構想」（素案）について

- ・ スポーツシュレの設置に関する今回の文言の追加について、特区制度の活用は必ずしも用地確保に限らないと思うので、「用地確保等」として欲しい。
- ・ 6頁のスポーツコミッションの経済効果について、必要に応じさいたまクリテリウムを含む旨の注釈を付した上で、きちんと「約292.4億円」と記載して欲しい。
- ・ 18頁のまとめについて、「キーワードが浮上した」との表現は違和感があるので、「明らかになった」等に修正して欲しい。
- ・ 4頁の国際スポーツタウンの定義について、表記内容が重複していること、国際スポーツタウンの定義という項目名に対し、国際スポーツタウン構想とはとの記載に

なっていること、本定義はあくまでも本市における定義であることを捉え、もう少し分かりやすくまとめ直して欲しい。

- ・ 17頁のスポーツシュレのイメージ図について、堺市の図を掲載しているが、少し分かりづらい。図や絵は、設計図のように見えてしまうことから、写真を掲載して欲しい。

< 結 果 >

- ・ スポーツ文化局発議の「さいたま市スポーツ振興まちづくり計画 改訂版」(素案)について及び「さいたま市国際スポーツタウン構想」(素案)については、いずれも、都市経営戦略会議での指摘を踏まえた修正を行うことで、了承とする。

< 会 議 資 料 >

(資料1)「さいたま市スポーツ振興まちづくり計画 改訂版」(素案)について及び「さいたま市国際スポーツタウン構想」(素案)について

(資料2)「さいたま市スポーツ振興まちづくり計画 改訂版」(素案)

(資料3)「さいたま市国際スポーツタウン構想」(素案)